



# 松里小だより

令和7年  
8月29日  
学校だより  
文責 廣瀬

## 新しい学期のスタートに期待を込めて

長い夏休みが終わり、8月28日から2学期が始まっています。朝、校門で児童の登校指導をしていると、笑顔いっぱいにあいさつをしたり、私の姿を見つけて駆け寄ってきて「校長先生おはようございます。」と自ら声をかけてくれたりする子どもたちに会うことができ、うれしさとおどろきの気持ちになりました。目をキラキラさせて登校してくる子どもたちにふれて元気ももらいました。学校の主役である子ども達が戻ってきて、学校が活気づきます。2学期も子どもたちの頑張りがとても楽しみです。

今年の夏は、災害級の暑さが続き、連日発表される熱中症警戒アラートにうんざりしたものでした。日差しもきつく、健康管理が難しかったですね。また、線状降水帯、台風・低気圧による大雨が九州・東北地方に起こり、浸水被害や農作物にも影響を与えていました。

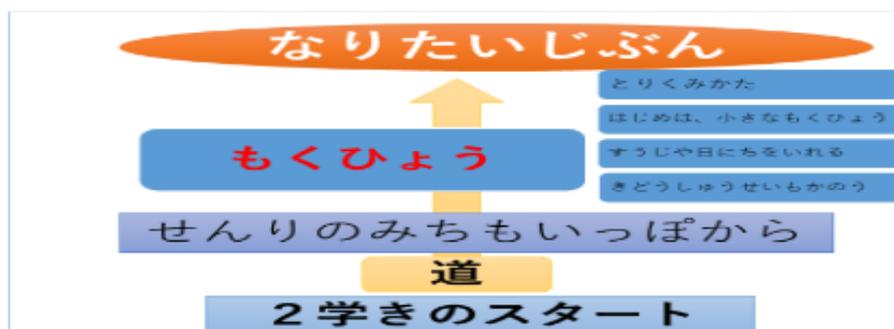
そんな中でも、全国高校野球選手権大会では、山梨県代表の山梨学院高校が準決勝進出を飾りました。体のハンデを負いながら野球に打ち込む県立岐阜商業の選手の動きも努力することの大切さを感じ、胸が熱くなりました。

一方、川や海での水の事故など悲しいニュースもあり、それが取り上げられる度に、子どもたちの安全を願いました。

子どもたちが揃って2学期の始業式を迎えられた事にほっとすると共に、ご家庭でのご協力に感謝申し上げます。

2学期は、1年間で最も長い授業日数であると共に、たくさんの行事等が控えています。秋の遠足、運動会、持久走大会、ころ柿集会、音楽発表会等まだまだあります。教室の日々の学習の積み重ねと合わせて、一つ一つの行事を通して、子どもたち一人一人が確実に成長していけるよう、今学期も「自分から考え行動する」、「よく遊びよく学ぶ」事を合い言葉に子ども達が笑顔で活躍する学校を目指します。2学期もどうぞ宜しくお願い致します。

また、2学期のスタートにあたり、「トライアンドエラー」を子ども達に話をしました。「やってみて、うまくいかなかったら、なおして、またやってみる」ことです。例を挙げて説明しました。もう一つは、「千里の山も一歩から」目標を持ち進んでいくことです。実り多い2学期にしたいと思います。



## 職員紹介・転入生紹介

2学期から松里小学校に勤務をすることになりました櫻井かおり先生です。野尻先生が担当していた理科・書写の授業を行います。櫻井先生は、昨年度松里小学校に勤務していたので、子どもたちもよく知っている先生です。

東京都国分寺市立第二小学校から転校してきました。4年生の真鍋 綿野（わたの）さんと、1年生の蒔朗（じろう）さんです。綿野さんは、歴史が好きだそうです。蒔朗さんは漢字に興味があると言っていました。1年生10名、4年生25名になり、全校で107名になりました。



## こどもたちの様子



大掃除です



始業式～各学年の発表です～

学習も始まりました



有価物回収の収益金で購入しました。

大型扇風機2台です。学校備品として大切に使用していきます。

ご協力ありがとうございました。

9月の授業参観にご覧ください。

